

耐寒性スイレンの育て方

スイレンは、夏のあいだ咲きつづけて、涼しさを感じさせてくれる水草です。栽培が簡単で身近な容器でも作れます。

植え方

容器 深さが30～50cmのポリエチレンのバケツや漬物樽、水瓶などを使うこともでき、また、庭に穴を掘り、ビニールシートを敷いた簡単な池でも栽培できます。

鉢 大型種7～8号、中型種5～6号、小型種3～4号駄温鉢を用います。

用土 田土か重い粘質土がよい。赤玉土や真砂土でも栽培できます。

方法 鉢穴を鉢かけでふさぎ、用土を $\frac{1}{2}$ ほど入れ、魚粉か油カス(7)と骨粉(3)を混合したもの一握りを元肥として加えます。根を広げ、土をつきかためながら、芽だけが出るように植え付けます。魚を飼っている池で栽培する場合は、表面に小砂利を敷きます。

置き場

1日中よく日が当たるところに置きます。植え込んで芽が出るまでは、芽までの水深を浅く(3～5cm)保ち、出葉後徐々に深くし、15～20cmの深さで育てます。

肥料

追肥として油カスと骨粉を7：3に混合し、親指頭大にかため、発酵、乾燥させたものを月に1回3～5個、鉢の縁より少し内側に押し込めて与えます。

病害虫

アブラムシが葉につきやすいので早いうちに水をかけ取り除くか、魚がいない所ではスミチオン乳剤を散布します。

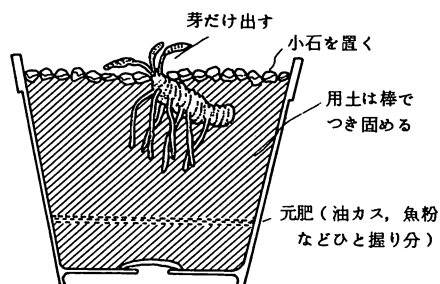
水瓶やバケツで栽培する場合は、水が腐らないように、時々水を入れ替えます。また、アオミドロなどが発生した時は、取り除くかミョウバンを少量加えます。(魚がいないところの場合)

冬の管理

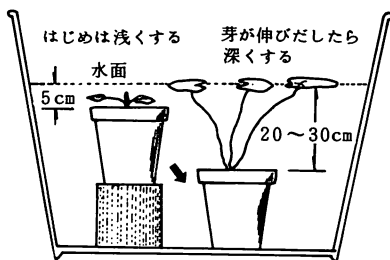
寒さには強いものですが、深いところへ沈めるか、芽が凍らないように保護します。

注意点

芽の中心部に日が当たらないと花つきが悪くなるので古葉はこまめに取り除きましょう。



植え方



沈める深さ

